

コード	304010102
記入日	H23.6.6

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	尾上 富幸

# 事務事業事後評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	網上児童遊園補修事業
----------	------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040101	事務事業名称	児童福祉総務管理事業費	細目コード	253
関連計画	次世代育成支援地域行動計画		法令・条例規則等		

## 計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1)	利用可能日数	(対象指標1)	365日				
(対象2)	利用対象児童数	(対象指標2)	30人				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
****	・ 網上児童遊園のフェンスの修理、門扉の取付け及び手洗い場を設置。	****	****	****	****	****	
		①	フェンス取替工事	一式	100%	実施工事・計画工事	平成22年度
		(達成率分析)	計画どおりに実施できた。				
		②	給排水工事	一式	100%	実施工事・計画工事	平成22年度
	(達成率分析)	計画どおりに実施できた。					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
	・ 児童遊園の安全確保と利便性を考え、早急にフェンスの補修、門扉の取付け及び手洗い場を設置し、網上地区の児童の遊び場、親子のふれあいの場の安全確保を図る。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		①	****	****	****	****	****
		利用可能日数	365日	100%	利用可能日数-計画利用可能日数	****	平成22年度
		(達成率分析)	安全性と利便性の向上が図られた。				
	②	****	****	****	****	****	
	利用児童数	30人	100%	利用対象児童数-計画利用対象児童数	****	平成22年度	
	(達成率分析)	安全性と利便性の向上が図られた。					

## 実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 22 ~ H 22		21年度以前	22年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① %	100	100		100	100
	② %	100	100		100	100
成果指標	① 日	365	365		365	365
	② 人	30	30		30	30
総事業費 C (A+B)	千円	896	916		896	916
直接事業費 A	千円	896	916		896	916
人件費 B	千円					
内訳	従事職員数	人				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	896	916		896	916

**評価 (CHECK)**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	フェンスの腐食が激しく、児童の遊び場としては非常に危険な状態であり、早急に対応する必要がある。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	網上地区内に児童が安全に遊べる場所が他にないため早急に対応する必要がある。
	・事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい いいえ	理由	網上地区児童が安全・安心に遊べる場所の確保が必要であり適切である。
有効性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理由	網上地区の児童の遊び場、親子のふれあいの場の安全確保が図られた。
	・成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	計画どおり実施された。
	・事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	児童の安全性が確保できない。また児童遊園として機能しない。
	・類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	単一の事業であり他の事業との整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっておりできない。
	・人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	人件費は発生しない。
	・受益者負担は適正でしたか。	● はい いいえ	理由	受益者負担は発生しない。

**改善 (ACTION)**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点	特になし。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	特になし。
2 次 評 価	住民の利便性の向上及び安全性の確保を図るため、今後も定期的な点検等の維持管理に努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。